

日赤おおいた

No. 56



Topics

- 表紙の写真・・・青少年赤十字創設100周年記念写真展を開催しました
- 救急法を普及する動画を作成しました
- NHK海外たすけあいキャンペーンを実施します
- 活動資金にご寄付をいただきました
- オーストリアで行われた核兵器禁止に関する会議に参加しました

「4種類の野菜スープ」が当たるアンケート実施中!



ホームページ



Twitter



Instagram

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大分県支部

青少年赤十字 創設100周年記念写真展 を開催しました



8月20日（土）から3日間、コンパルホールにて青少年赤十字創設100周年記念写真展を開催しました。

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

1922年の創設から100周年を迎え、8月20日に行われた写真展のオープニングイベントでは、これまで青少年赤十字の活動にご協力いただいた指導者の方やOB・OGメンバー、現役高校生メンバーが集まり、当時の思い出や現況を語り合いました。

写真展は、青少年赤十字事業の過去から現在に至るまでの活動写真を展示し、3日間を通じて、多くの方にご来場いただきました。

今後も日本赤十字社大分県支部は青少年の健全な育成に努めてまいります。



救急法普及動画を 作成しました

日赤大分県支部では県民の皆様により救急法を身近に感じていただきたいという思いから、救急法普及動画を作成しました。

内容は、ヒーローや悪の魔王が登場し、ケガや熱中症に対して応急手当をするというものです。

赤十字の職員やボランティアの方の出演で、撮影を行いました。

第1話は三角巾を使った応急手当、第2話は熱中症の手当てを紹介しています。

動画は日赤大分県支部のホームページやSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。



NHK海外たすけあいキャンペーンを実施します

現在、世界各地では、相次ぐ紛争や暴力行為、激甚化する自然災害、深刻な食料危機、感染症の蔓延などにより、多くの人々が命をつなぐための支援を必要としています。ウクライナ、シリア、ミャンマー、アフガニスタン、南スーダンなどでは、止むことのない紛争や暴力により避難を余儀なくされる人々の数は第二次世界大戦以降最悪の水準に達しています。

海外たすけあいキャンペーンは、こうした世界の状況を踏まえ、日本赤十字社が「苦しんでいる人を救いたい」という寄付者の思いと、支援を必要とする世界各国の人々をつなぐ橋渡し役となることを目指し実施しているもので、いただいたご寄付は救援物資や衣料品の配布、衛生設備の配備、ボランティア体制の構築などの幅広い活動に活用されます。

皆様のあたたかいご支援をお待ちしております。



募金受付期間 **12月1日(木)～12月25日(日)**

受付方法 窓口(現金) NHK大分放送局、日赤大分県支部、各市町村の赤十字窓口
銀行振込 大分銀行、郵便局、JA、JFの各支店

活動資金にご寄付をいただきました

ミス・ジャパン大分県代表 工藤彩郁 様

9月9日(金)に、ミス・ジャパン大分県代表の工藤彩郁様より、活動資金の贈呈をいただきました。

工藤様は、「2022ミス・ジャパン」の大分県代表に選ばれ、県外の大学で医師を目指しながらチャリティーやボランティア活動も積極的に行っています。

今回はオリジナルで製作された、かぼすのパウンドケーキを販売した収益をご寄付いただきました。

原材料の調達や、製作に関してもすべてボランティアの方たちの協力によって成り立っているとのことで、今後もこのような活動を行っていききたいとのことです。



明治安田生命相互保険会社 様

日本赤十字社と明治安田生命相互保険会社様は、人々の健康・福祉を支え、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりへの活動を共同で展開する包括パートナーシップ協定を締結し、「『地域づくり・未来世代』応援プロジェクト」を展開しています。

この度、明治安田生命相互保険会社様の実施した「感謝のエールアクション～全国の医療従事者の方々へ感謝の想いをお届けしよう～」の取組により、活動資金へご寄付をいただきました。

この取り組みは明治安田生命相互保険会社様のお客様から医療従事者へ感謝のメッセージをお届けするとともに、応援したい都道府県を選び、その応援数に応じて、全国の日本赤十字社へのご寄付をいただくものです。

大分県支部にて行われた贈呈式では、松本定重大分支社長(写真左)より廣瀬事務局長へ目録が手渡され、今後の連携に向け熱い握手を交わしました。

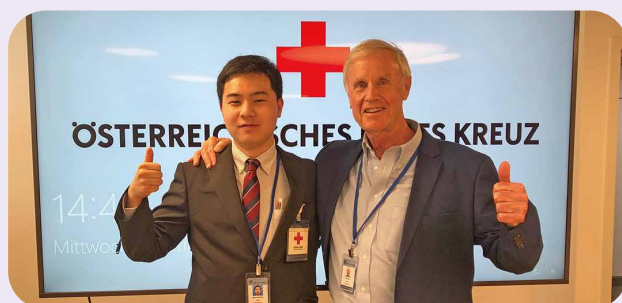


核兵器禁止条約 第1回締約国会議に参加

オーストリアの首都ウィーンで開催された核兵器禁止条約第1回締約国会議（6月21日～23日）に大分県青年赤十字奉仕団員であるXianghao Zhaoさんが赤十字ユースボランティア代表として参加しました。

会議の中では「被爆者が訴える核兵器根絶への思いを受け継ぎ、次世代へ啓発活動を続けていきたい」と声明を発表しました。

帰国後は日赤大分県支部にて、会議での様子や、参加して得られた情報などを報告しました。



大分赤十字病院からのお知らせ 健康講座のご案内

大分赤十字病院では、患者さんや一般の方を対象とした健康講座を定期的に開催しています。各診療科の医師や看護師などが、各種疾患の検査・治療並びに健康維持に関わる知識をわかりやすく解説します。

地域の皆さまが健康で安心して暮らせまよう、その折々に合わせた話題をご提供いたします。

参加費無料で申し込みの必要もありませんので、お気軽にご参加ください。

【場 所】大分赤十字病院 管理棟5階 大会議室
【時 間】14:00～15:30
【問合せ先】社会課 Tel: 097-532-6181

令和5年	演者：医師	脾のう胞のはなし
1/23(月)	演者：看護師	脾臓を守ろう
2/27(月)	演者：医師	非結核性抗酸菌症について
	演者：看護師	感染予防
2/25(土)	市民公開健康講座	
	【場所】J:COMホルトホール大分 3階 大会議室	

アンケートにご協力をお願いします

今後の「日赤おいた」の紙面づくりの参考とするために、アンケートへのご協力をお願いします。

以下の①～④をご記入のうえ、令和5年1月31日(火)必着で、郵便、FAXにてご回答ください。ご協力いただいた方から抽選で、保存期間が長く、防災食としても役に立つ4種類の野菜スープを8名の方にプレゼントします。

皆様のご意見をお待ちしています。

- ①お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ②本誌を読まれた場所（地区など）
- ③本誌へのご意見・ご感想
- ④今後掲載してほしい内容



●回答先● 郵送 〒870-0033
大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分県支部 総務課
「日赤おいた」56号 アンケート係
FAX (097)533-6795

※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

 **日本赤十字社** 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236・FAX(097)533-6795

日赤大分 検索

「日赤おいた」のバックナンバーは、こちらからご覧になれます。

大分赤十字病院

〒870-0033 大分市千代町3丁目2-37
TEL (097) 532-6181

大分赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字荏隈717-5
TEL (097) 547-1151

献血ルーム・わったん

〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL (097) 574,6822
予約専用 ☎0120-489-150